

『堀兼中学校での学びは、きっと生徒の未来を生きる力の宝となる。』

堀兼中学校は、無限の可能性を持った生徒が育つところ

私が堀兼中学校に校長として着任して、もうすぐ1ヶ月となります。本校の生徒たちは、日々授業を中心とする教育活動の中で学び、そして本校の教職員は教育公務員として実直に、そして『未来をつくる子供たち』が育つために、自覚と責任、誇りを持って職務にあたっております。『未来を育てる私たち』。今後とも、保護者の皆様、地域の皆様と手を携えて前進してまいります。

【生徒朝会】

4月21日(火)、今年度初めての生徒朝会が行われました。生徒会のみんなが運営。その上で、今日のメインは、各委員会委員長からの挨拶と抱負、そして安全委員会の発表でした。みんな素晴らしかった。そして、聞いている全校生徒の姿も素敵だった。堀兼中の素敵なところにまた一つふれることができました。ありがとう。

【地域の力】

先日、教頭先生と地域へのあいさつにまわりました。公民館長や自治会長にあいさつ回りをして感じたこと、それは、見えないところで学校は、子供たちは守られ支えられているんだなあということ。感謝です。地域と共にある学校であることの大切さを強く感じました。学校と地域が子供を中心につながり支えていく、そして『未来をつくる子供たち』が育っていく。尊いことです。

【保護者会】

保護者の皆様、4月24日(金)保護者会に足を運んでくださいまして、誠にありがとうございます。私たち堀兼中学校教職員一同、保護者の皆様の宝でありますお子様を、私たちにとっては未来をつくっていく日本の宝であります生徒一人一人を、本校の教育活動を通して、全力で支え、自律し、自立し、それぞれの善なる個性を輝かせていける人となっていくよう、心を込めて関わってまいります。

『校長 心の発信』

【堀兼殉国慰霊祭】

4月26日(日)、堀兼中学校校舎北側に面している堀兼慰霊碑の尊前で、堀兼殉国慰霊祭が行われました。私も堀兼中学校校長として自ら望んで参列させていただきました。戦後81年を迎えましたが、それ以前は、確かに日本は戦渦にありました。この堀兼地区からも190名以上の方が、日本を守るために戦死され、今、その方々の御霊(みたま)が堀兼慰霊碑のもとで眠っていらっしゃる。

今も世界の国々では戦争が起こり、それぞれの正義の名のもとに、かけがえのない尊い命が奪われています。そして、たくさんの方々が苦しんでいらっしゃいます。

戦争はどうして起こるのか？ 他者を想い、認め、尊重していくことができるならば、もっと幸せな世の中がつけられていくのではないかと思います。

多様性や他者の受容、善なる個性の尊重、自分と他者は同じではない、みんな違ってみんないい。そしてその中で『和』を大切に。そんな世の中をここ、堀兼中学校からもつくっていきましょう。

『共に学び、共に伸びる生徒』が育つ堀兼中』コーナー

「共に学び、共に伸びる生徒」が育つ堀兼中 ③ ↑

ある数学での授業のこと。

生徒の中から「はいすう」で何？という言葉が飛んだ。

その教室では、「はいすう」が「？」の生徒がかなり多くいる様子だった。

そのとき、授業を担当されていた先生が、

「わからなことがあったら、（仲間に）聞いていいよ」とおっしゃった。

「はいすう」が「？」の生徒はそこから仲間に聞く行動に移った。

そのときの表情は、みんな安心感に満ちた笑顔というか、とてもいい表情をしていた。

仲間に聴ける安心感。 ↑

分らないことが知りたいとき、分かるようになりたいときは、仲間や資料や教科書や辞書やタラシト等、さまざま「知るため」「分かるため」の材を求めて行動し、活用していくと、それで、生きていく力になります。

頑張て！😊

「共に学び、共に伸びる生徒」が育つ堀兼中 ② ↑

美術の鑑賞の授業。

トイレの便器が美術作品になった話がされていた。

その中で、↑

「なんで？」 という声が飛んだ😊 ↑

「なんで？」 『どうして？』 『なぜ？』 ↑

これらの「わからなさ」から学びは深まっています。

「わからなさ」を共有して、そこからみんな学び、↑

みんなが共に学び合う中、学びを深めていこう。（深い学び）↑

わからなさの共有を大切に。↑

「わからない」が言える、↑

そして聴き合える心理的安心感に満ちた環境を

みんなできつていこう。

『学びの姿 学びの事実』写真集



本校の職員室前の廊下に、このようなコーナーを設けました。
 ここには本校の生徒たちの学びの姿、学びの事実が写っています。
 本校の生徒たちは、確かにこの時この瞬間にこのような学びをおこなっていました。
 そしてこの『学び』の継続と積み重ねを通して『生きる力』を獲得していきます。
 本校の学校教育目標『共に学び、共に伸びる生徒』が育つ学校が実現するよう、
 本校全教職員で目指してまいります。
 保護者の皆様、地域の皆様、本校にいらっしゃったときには、是非、職員室前にお寄りいただき、
 生徒たちの『学びの姿 学びの事実』を観ていただけたら幸いです。
 どうぞよろしくお願いいたします。

保護者の皆様、地域の皆様、『共に学び、共に伸びる』生徒が育つよう、共に歩いていきましょう。